

第9回ふかくさ町家シネマ

(学まちコラボ支援事業・伏見区民活動支援事業・京都府地域力再生プロジェクト支援事業)

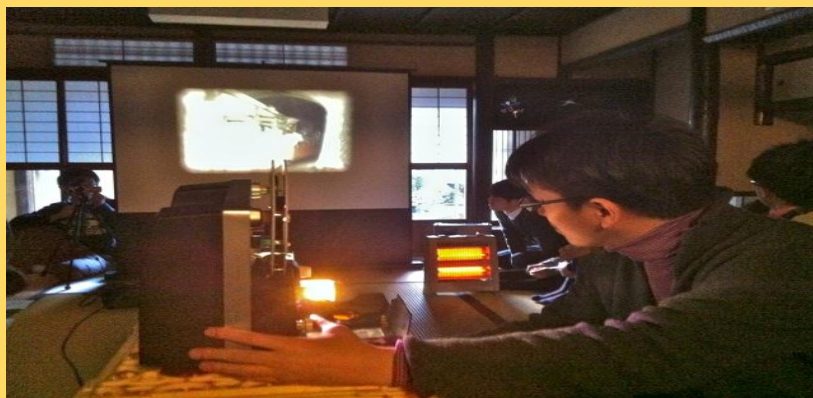
～我が家に来たアメリカ脱走兵～

映像提供とお話 小山帥人 (こやま おさひと) さん

1945年から60年の15年間、64年から68年の4年間、合せて19年間、竹田に住んでおられました。京都市立竹田小学校 京都市立藤森中学校、京都府立桃山高校卒業

日時:2015年1月15日(木)16時開演18時終了予定

場所:龍谷大学深草町家キャンパス
京都市伏見区深草直達橋6丁目303(京阪藤森駅から徒歩5分)



今から50年前の1964年、ベトナムのトンキン湾で米海軍の船が魚雷攻撃されるという事件が起こり(のちにマクナマラ国防長官が誤りを認めるのだが)、アメリカは、この事件をきっかけにベトナム戦争に本格的に介入し始めた。

翌65年には北爆(米軍による北ベトナムへの爆撃)も始まり、ベトナムに送られる米兵が急増した。日本政府は戦争に全面的に協力することを約束したが、アメリカや日本で、ベトナム戦争に反対する運動が振がっていた。

68年の初め、信頼する先輩が頼みがあると言ってきた。ベトナム戦争を拒否して脱走したアメリカ兵をかくまってほしいというのだ。

京都・伏見の竹田にある狭い我が家にしばらく脱走兵を預かることにした。ある寒い日、車で送られてきた脱走兵はキャルと呼ばれる背の高い19歳の青年だった。話を聞くと、ベトナムでは、少し前まで元気に話していた友が絶命するという恐怖を経験し、絶対にベトナムに帰りたくないという。「殺したくない、殺されたくない」という彼の気持ちがよく分かる気がした。

メモ類は残さないようにいわれたが、後日のために16ミリ撮影機で、彼の様子を、場所を特定できないように撮影し、封印した。

その封印を解く。

(小山帥人)

主催:ふしみふかくさコミュニティアーカイブ 共催:ふかくさ町家シネマプロジェクトチーム

協力:NPO法人記録と表現とメディアのための組織remo 連絡先:龍谷大学政策学部松浦研究室

電話・FAX 075-645-8609 (当日連絡先 090-9253-9400) matsuura@policy.ryukoku.ac.jp

*8mmフィルム等、古い映像とくにホームムービーを収集しています。地域の皆さんと観賞するためご協力下さい。